

プレスリリース

2010年12月

Stone+tec Nürnberg 2011: 欧州に景気回復ムード

- ・ 欧州景気再び上昇基調
- ・ ニュルンベルク見本市では共同ブースも

ニュルンベルク・メッセセンターで6月22日から25日まで開催される Stone+tec Nürnberg 2011 は、いい時期に開催となる。EU加盟国とその近隣諸国の景気は、数カ国を除き、再び成長の兆しを見せているからだ。ドイツでは2010年の予測が12月に上方修正された。専門家は今ではGDPの成長率は3.6パーセント以上としており、これはドイツ統一以来、最大の成長になりそうだ。この成長の主要因は外国からの高い需要が継続していることにある。ユーロ圏でも予測値は少し低いものの、明らかにプラスの領域にある。

「世界の天然石産業にとって信頼できる欧州経済圏の重要性は、個々の地域のブームに隠れ、しばしば忘れられるが、石はヨーロッパでは他のどの地域よりも長い、多面的な歴史を持っており、短期的なトレンドに流されることはあっても、全体的として大きな価値の創造と安定性を示すことができる。」こう語るのはニュルンベルクメッセの Stone+tec プロジェクトチーフ、エルケ ハルライス氏である。世界中の多数の企業は Stone+tec 2011 に出展することで、この興味深い欧州市場の真ん中にプレゼンスするメリットを再度活用する。例えば出展社の中には共同ブースを使って、特定の国や地域の広範で多様な産品を展示するところもある。